

千歳市

北海道で空に一番近いまち

～千歳市について～

千歳市は、“北海道の空の玄関口”新千歳空港があり、支笏洞爺国立公園に属する支笏湖などの雄大な自然に囲まれ、四季の移ろいを感じることができる住環境と、交通アクセスや生活利便性に優れた都市環境が調和するまちです。

また、半導体関連企業の立地が決まり、今後さらなる発展が期待されているまちです。



支笏湖

およそ4万年前に支笏火山の噴火でできた陥没地に水が溜まって形成されたカルデラ湖です。秋田県の田沢湖に次いで2番目の深度を誇る日本最北の不凍湖です。透明度が非常に高く、水質は2018年度まで11年連続日本一に評価されています。

新緑、紅葉、雪景色など季節ごとに様々な表情を見せてくれる支笏湖では「支笏湖湖水まつり」や「支笏湖紅葉まつり」、「千歳・支笏湖氷濤まつり」などイベントもいっぱい!



名水

支笏湖を源流とする千歳川の支流「内別川」の流域には、大小60か所以上の湧水があり、源頭部の水量は1日約13,000t、千歳川との合流点では1日約60,000tに達します。この内別川の源頭部は「ナイベツ川湧水」と呼ばれ、環境省による「昭和の名水百選」にも選ばれており、千歳市の上水道の主水源として千歳市での生活を支えています。



道の駅・水族館

令和5年にリニューアルされた道の駅は、北海道が誇る「サーモン」の魅力や北海道の食文化・観光資源を日本・世界へ発信する施設です。新鮮な地元野菜が買える農産物直売所、レストランやフードコート、キッズスペースもあります。

「サケのふるさと 千歳水族館」は、北海道最大の淡水水槽を有する水族館で、様々な淡水魚の生態を観察することができます。サケの一生を紹介するサーモンムービーや、千歳川の水の中を直接見ることのできる日本初の施設「水中観察ゾーン」があります。



たまご

雪が少ない穏やかな気候と、良質の水が供給される千歳市は、養鶏に大変適しています。

千歳産の卵を使い、各店がオリジナルに開発した“千歳バーガー”は、正統派からスイーツバーガーまで、個性豊かなご当地グルメとして人気です。



航空祭

航空自衛隊に対する理解と認識を深めるために航空自衛隊千歳基地が主催する祭で、例年7月頃に開催され、多くの来場者で賑わいます。

救難捜索機や戦闘機、政府専用機を間近で見ることができるほか、宮城県松島基地に所属するブルーインパルスの編隊飛行を鑑賞することができます。

